



# ビニル床材のリサイクル

---

インテリアフロア工業会

(株)タジマ

市川 薫

# リサイクルガイドライン(ビニル床材)

- 1) 原材料における使用済み塩ビ製品(農ビフィルム等)の使用比率向上に努める
- 2) 解体時に分離容易な簡易接着タイプ製品の普及促進を図る
- 3) モルタルとの分離技術の開発を中心に、床材to床材リサイクルの可能性について検証を行なう
- 4) 塩ビ製である旨の材質表示の可能性について検討を行なう

# ビニル床材リサイクルの現状

## マテリアル リサイクル

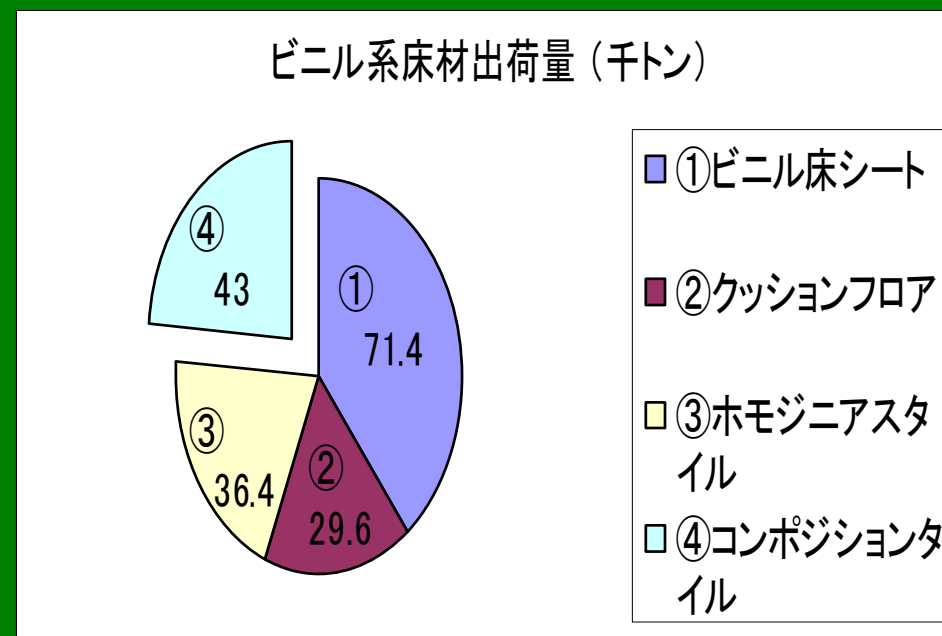
- ・工場加工端材 ⇒メーカーで実施
- ・他資材の再生利用 ⇒メーカーで実施
- ・床材から床材へ(端材・余材)⇒**計画中**  
(使用済み)⇒実験中

## フィード ストック リサイクル

- ・高炉原料化 ⇒検証済み
- ・セメント原燃料化 ⇒検証済み

# ビニル床材の出荷量 (平成12年)

品種	百万m <sup>2</sup>	千トン
ビニル床シート	23.8	71.4
クッションフロア	30.0	29.6
ホモジニアス タイル	10.8	36.4
コンポジション タイル	7.3	43.0
合計	71.9	180.0



# 施工端材のリサイクルシステム 事業概要

新築現場より排出されたビニル系床材・巾木の施工端材および余材を、品種別に分別回収し、粉碎処理後各社の工場にて、床材にマテリアルリサイクルする。

- ① ビニル床シート、ビニル巾木 ○
- ② クッションフロア ○
- ③ ホモジニアスビニル床タイル ○
- ④ コンポジションビニル床タイル ×

# 事業環境

- ビニル床材の年間出荷量 約18万 t(H12)
- その5~7%が施工端材 約1万 t
- リサイクル予定数量
  - ・ 初年500 t 2年1,000 t 3年2,000 t
- コンポジションタイルは回収しない
- 工業会の共通ルートのみで回収
- 処理拠点
  - ・ 初年度 関西1拠点 2年目以降関東追加

# 事業運営の基本方針

- 環境省の広域再生利用指定を受ける
- 処理費は、排出事業者負担
  - 運送費 実費全額
  - 処理協力費 30円/kg
- 施工業者に分別回収の協力を依頼する
- 会員メーカーのOEM出荷分は対象に含める

# リサイクル品の流れ

## ■ 新築現場

- ・ 分別回収、種類ごとに指定の袋に入れる
- ・ 粉砕工場に送付する

## ■ 粉砕工場

- ・ 再選別、粉砕後、メーカーに送付する

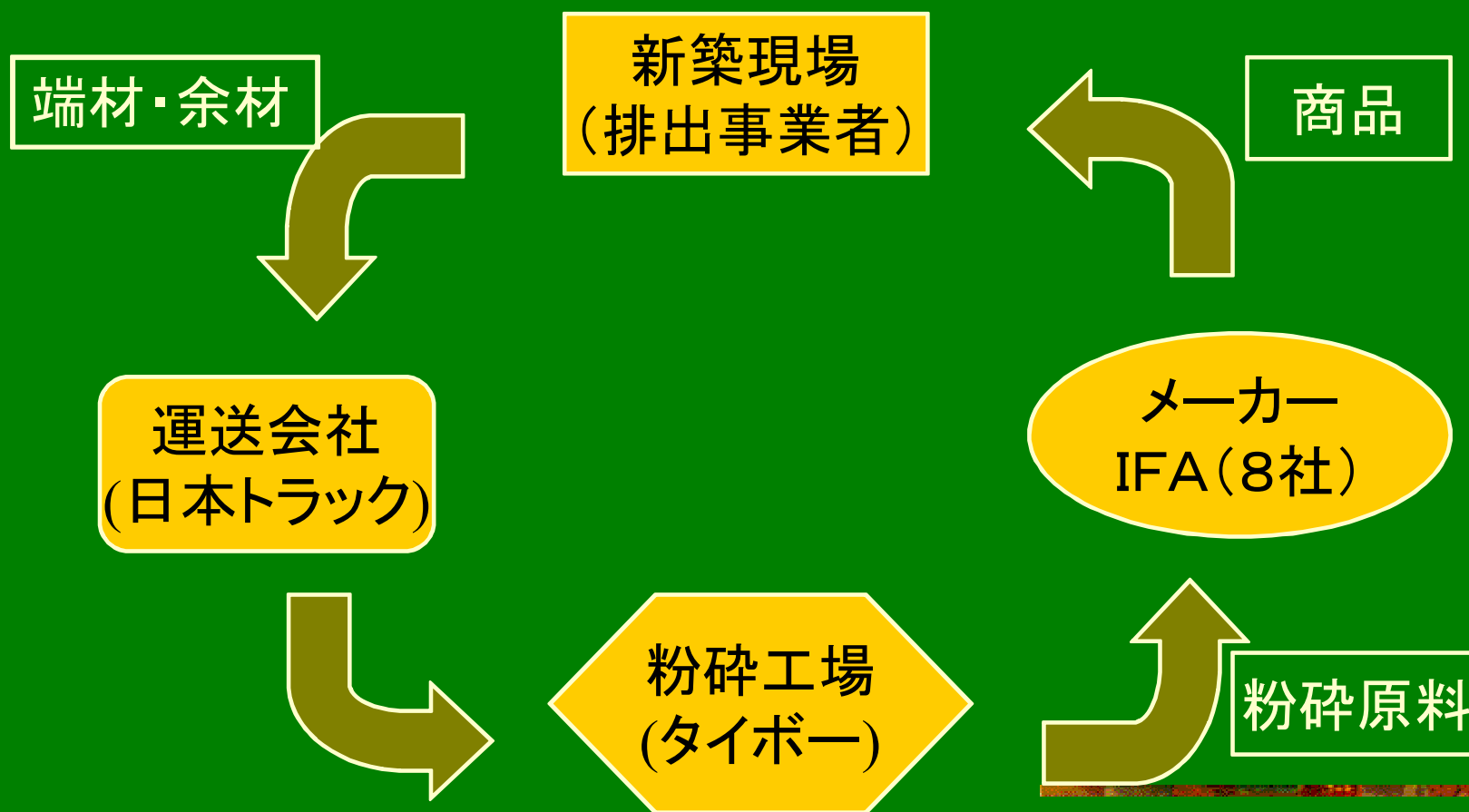
## ■ 初年度地域限定

東京・神奈川・千葉・埼玉・大阪・京都・兵庫・愛知

## ■ 最低数量 120kg以上



# リサイクルフロー図



専用小袋

ビニル系床材リサイクル袋

処理費

900円／袋



送料別

- ① ビニル床シート、ビニル巾木
- ② クッションフロア
- ③ ホモジニア タイル

いずれか該当する所に○を付けて下さい

現場名: \_\_\_\_\_

注意事項;リサイクル袋です。ごみ等は  
入れないでください。

インテリアフロア工業会

# 分別の対象

- 種類による分別
  - 長尺シート・巾木
  - クッションフロア
  - ホモジニアスタイル
- 混ぜてはいけないもの
  - 異素材の床材(ゴム・リノリウム)、複合床材
  - 架橋塩ビ、非塩ビプラスチック
  - 接着剤付き端材
  - カッターの刃などの異物

# ビニル床材 材質表示ラベル

∞ P V C

文字サイズ：JIS20ポイント以上

※資源有効利用促進法(リサイクル法)に基づき、平成15年4月から全ての床材に表示が義務化される